



岩手県学童保育連絡協議会
TEL/FAX
019-681-0651
MAIL
iwate-gakudou
@iaa.itkeeper.ne.jp

第五十回 全国学童保育連絡協議会 全国学童保育研究集会 in 大阪

◆ 昨年の岩手集会から、あつという間に一年が過ぎ、大阪集会まで二週間となりました。花巻市総合体育館での歓迎行事、子どもたちによる「雨にもマケズ」の朗読、歌やけん玉、さんさ踊りの様子が思い出されます。感動がよみがえりますね。大阪集会では、歓迎行事の際にタオルを使用するよう、協力をお願いします。

◆ 十月十五日現在の申し込み人数は全国で三五七〇名。岩手からは、五十七名の申し込みがありました!! 目標は三十五名としていましたが、さすが、昨年の開催地、東北では一番の参加率です! 一年に比べ、指導員はもちらん、保護者の参加率もUPして、全国で大きな学び、岩手の学童の充実に繋がります。

◆ 岩手からは、参加するだけでなく、報告者・分科会世話人・レポート発表等、運営に携わる方もいます。会場で見かけた方は、応援よろしくお願います。

※全国研へ参加する皆さんへ
学んだこと・感動した事等の感想を、事務所にお寄せください。参加できなかった方に様子を伝えていただきたいと思えます。

県連協役員会では・・・

毎回の役員会では、地域連協の情報交換、活動報告を行っています。今年度は、新制度が施行されました。運営指針や、処遇改善事業の活用についてが主に話し合いをしめています。県連協では、「処遇改善事業」の説明資料を作成しました。学童内や自治体への働きかけの際に活用ください。

SCJの沿岸学童支援が十二月で終了します。十二月以降、沿岸地域の支援活動を円滑に行えるよう、SCJの方と一緒に自治体の訪問活動を開始しました。相談窓口の役割を継続しながら、地域のニーズの収集に努め、引き続き、県連協が出来る支援を行っていききたいと思います。

第四十回 全国指導員学校 東北会場

◆ 十一月二十二日(日)、今年も仙台市で開催されます。全体講義は、大東文化大学の渡辺恵津子先生。講座は、今年もおやつ作りの実践が出来る平本先生、また、合宿研で講師に来ていただいた小野さとみ先生もいらつしやいます。

◆ 申込〆切は十月二十八日(水) 必着です。たくさんさんの参加よろしくお願います。

『日本の学童ほいく』 購読してますか・・・?

もちろんです! という方も多いと思いますが、学童で購入している、回覧しているという方、ぜひ個人での購入をお考えください。時間があるときに、気に入っている部分だけを手軽に読める状態が良いですよ。毎月の特集はもちろん、講座、協議会だより、など日々の悩みの解決につながる内容や新しい情報も掲載されています。読んでみると、岩手の方の原稿の掲載も意外に多く、同じ県民として励まされます。子どもたちも、作文や絵が掲載されると、とっても喜びますので、投稿してみたいかがでしょう。

毎月、全国のたくさんの仲間が、ほいく誌に原稿を寄せ、編集部の方の力もあって発行されている事が分かります、なおさら、読み深めたくになります。

購読の申し込み、増刷の連絡は、
県連事務所まで!

岩手県学童保育連絡協議会 第四十三回 第二十八回 指導員学校 合宿研修会の まとめ集作成しました

◆ 八月二十二・二十三日(土・日) 花巻渡り温泉を会場に開催し、両日で、二百四十人の参加がありました。

≪全体会≫
新制度施行から、数か月がたちましたが、未だ、運営に不安を感じている学童もあるのでは? という事で、全体講演を「運営指針」⇒「新制度」⇒「子ども力・遊び力」の三テーマにし、今までのない構成としました。早川隆志先生には、いろいろな遊びを実践させていただき、楽しいひと時となりましたね。

≪分科会≫
7つのテーマに分かれて学び合いました。全体会に引き続き、運営指針についてのQ & Aや、遊び、生活づくりなど、日々の保育に役立つ、又、リフレッシュできる内容になったのでは、ないかと思えます。

◆ 研修会のまとめ集を作成しました。会員の方々に、配布します。参加できなかった方に見て頂いたり、研修の振り返りなど、学童でぜひ活用ください。

- ★ 参加者からの声(全体会③アンケートより)★
- ◎ 大人も子どもの様に遊べたら、子供も楽しめ、心が安定してくるのだ、と気が付きました。今日の遊び・おもちゃは楽しく、是非、子どもたちと楽しみたいと思います。
- ◎ 講演を聞いて、すごく勉強になりましたし、自分を見つめなおすことが出来ました。子どもを抱きしめたり、向き合っただけで遊ぶ時間を作りたいと思った。
- ◎ とても面白かったです。まさに、おっしゃっていた管理状態になっていました。5分でもいいから、自分の手を止めて子どもとの時間を作ろうと思いました。
- ◎ 仕事をしていると、なかなか子どもと遊ぶことが少ないと改めて感じました。子どもたちとたくさん遊びたいと思います。